

グループホーム在住の認知症高齢者の 口腔機能と要介護度との関連性

武藤久子¹, 山岸ちか¹, 伊藤美代子¹, 遠山佳乃², 関根佳世²

高井貴久恵², 酒井真紀³, 浜島拓也⁴

1: 医療法人社団新聖会 けやき台歯科クリニック

2: 医療法人社団新聖会 高木歯科クリニック

3: 医療法人社団新聖会 元住吉デンタルオフィス

4: 医療法人社団新聖会

背景

- 嚥下機能は、高齢者の健康状態と関連する。
- ✓ 要介護高齢者の嚥下機能が低下するほど、BMIが低値を示す (老年歯学 2003: 10-16)
- ✓ 在宅介護を受けている高齢者は、嚥下機能が低下するほど栄養状態が低下し、ADLが低下する (Community Dent Oral Epidemiol 2013; 173-181)

嚥下機能は、高齢者の
栄養状態やQOLを維持するために重要

目的

□ **グループホーム在住の高齢者の嚥下機能は、健康状態と関連するか？**

嚥下機能の1側面である嚥下回数が、要介護度や口腔衛生に及ぼす影響を検討する

方法

□ 研究デザイン

- ✓ 横断研究

□ 対象

- ✓ 埼玉県および神奈川県ของกลุ่มホームに入居している認知症患者
- ✓ 計1204名
 - † 85.0 ± 7.5 歳

□ 介入

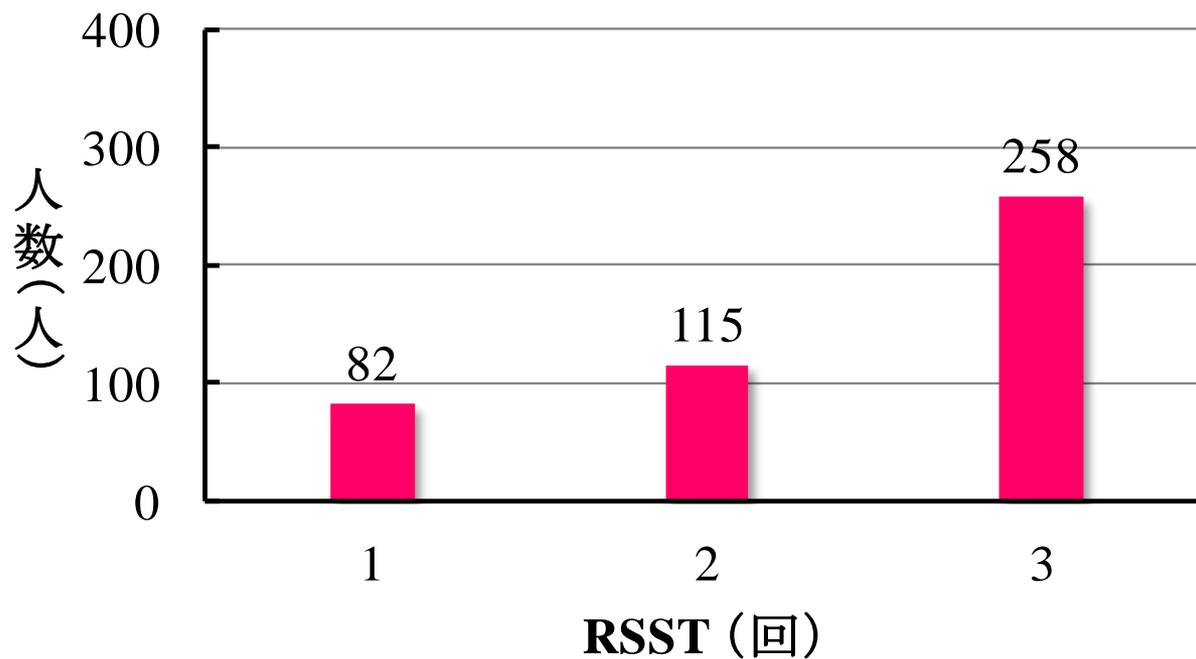
- ✓ 週1回、歯科衛生士がホームに訪問し、ケアを実施

測度・分析

□ 項目

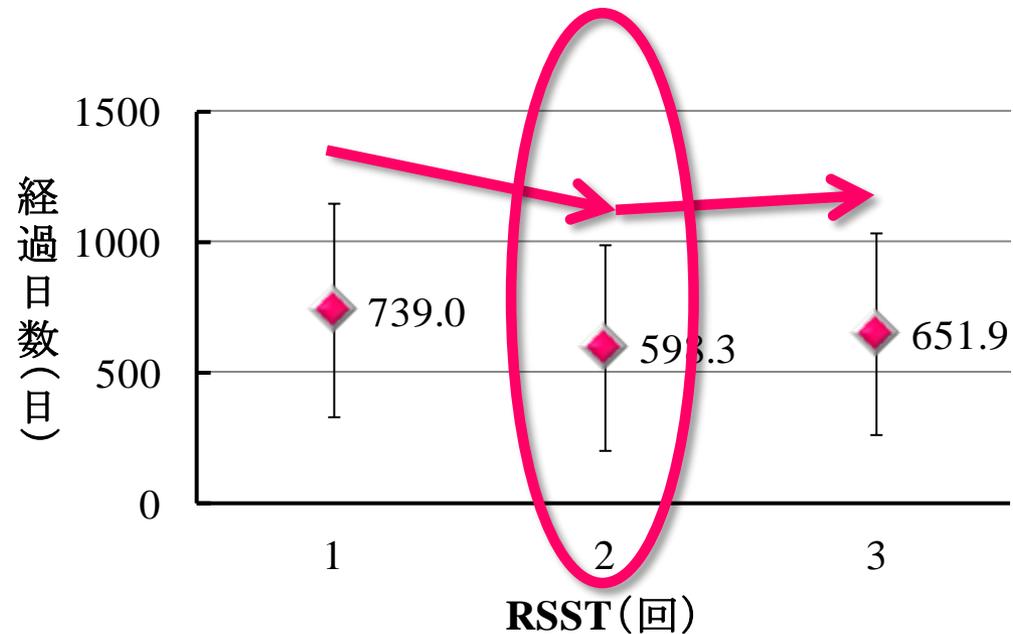
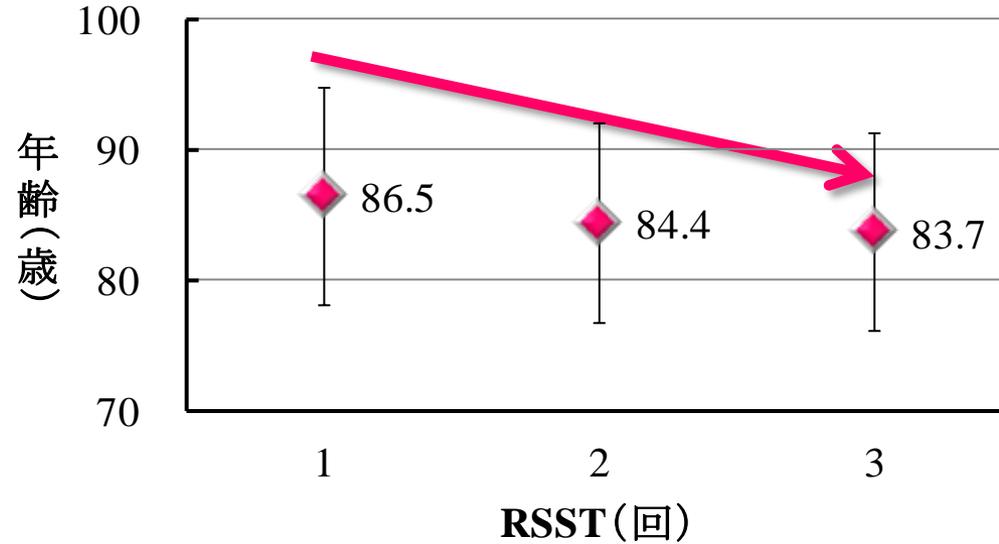
項目	2点	1点	0点
口臭	ない	弱い	強い
自発的な口腔清掃習慣	ある	多少ある	ない
むせ	ない	多少ある	ある
食べこぼし	ない	多少ある	多い
表情の豊かさ	豊富	普通	乏しい
咬合力 (右)	強い (1点)	弱い (0.5点)	無し (0点)
咬合力 (左)	強い (1点)	弱い (0.5点)	無し (0点)
歯や義歯の汚れ	ない	ある	多い
舌の汚れ	ない	ある	多い
ブクブクうがい	できる	やや不十分	不十分

結果: 嚥下回数

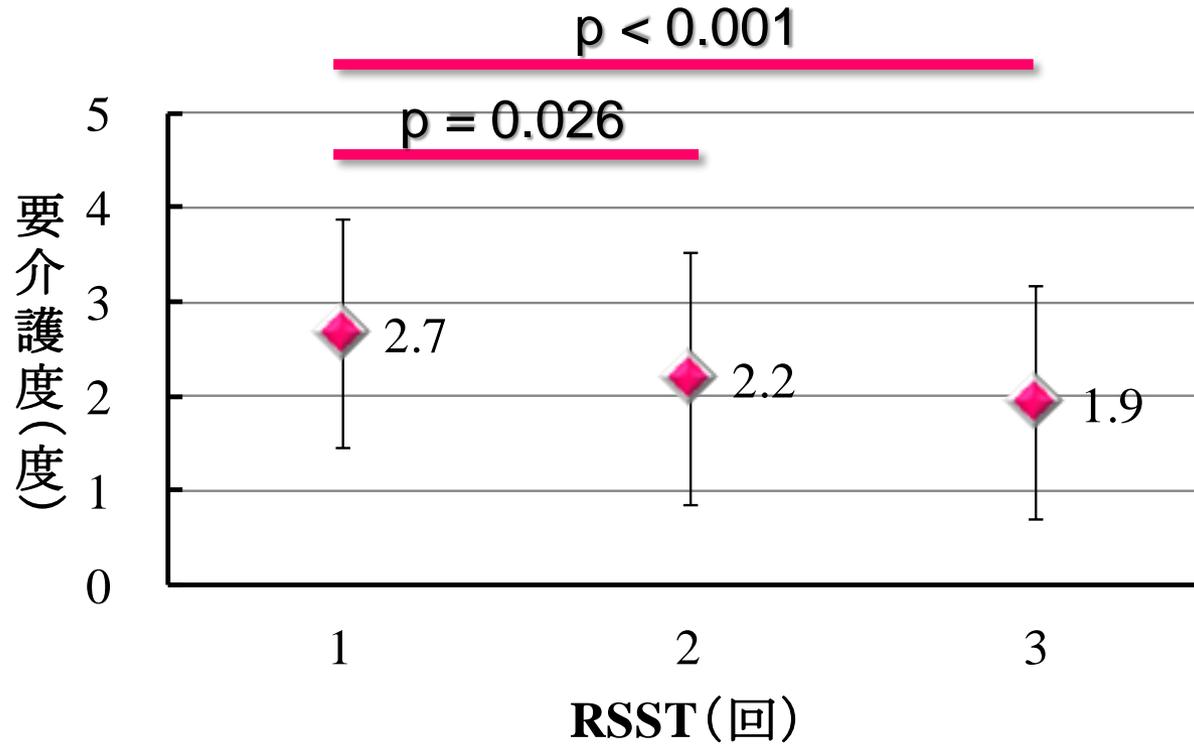


RSSTでの嚥下回数が1回以上の者を分析対象とした

分析対象者のプロフィール

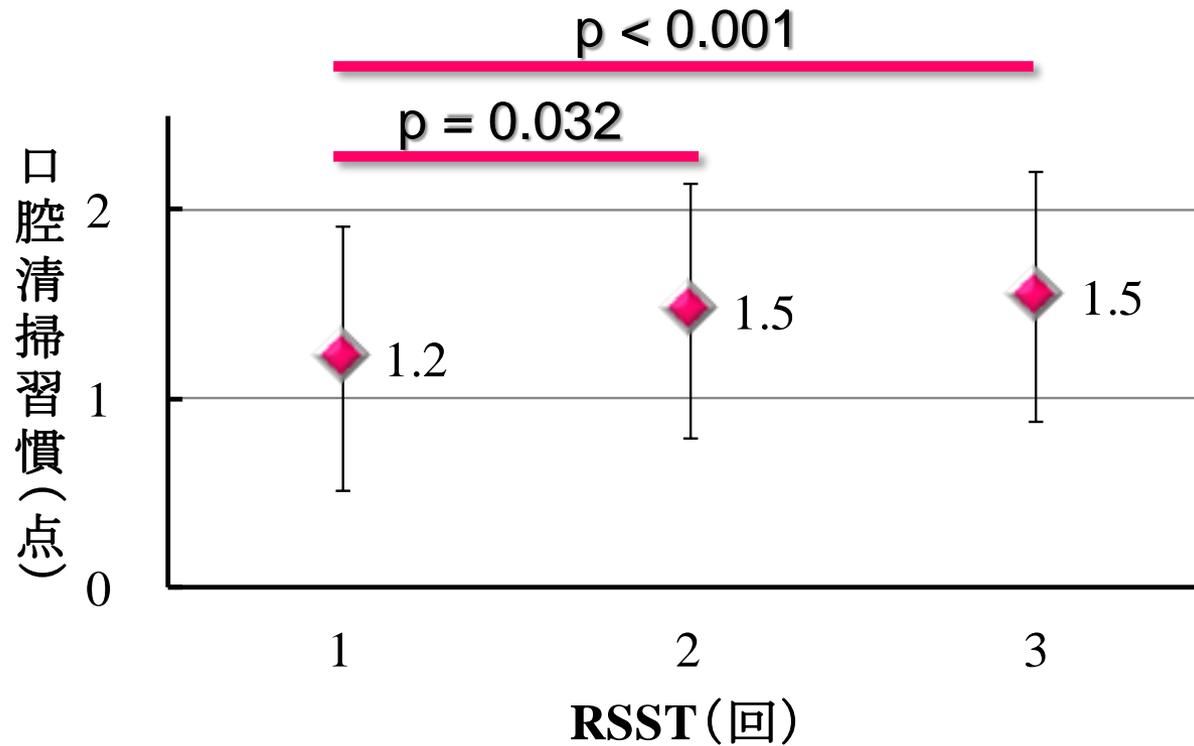


要介護度



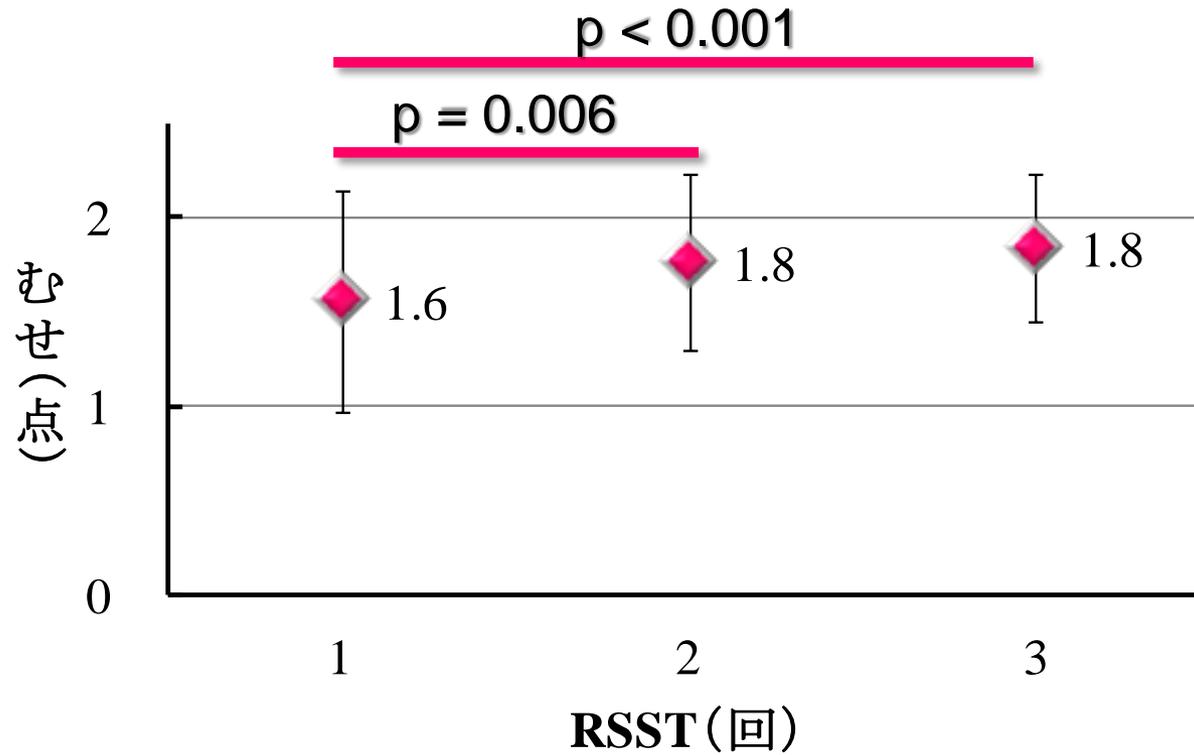
□ RSST嚙下回数が少ない者ほど、要介護度が高い。

自発的な口腔清掃習慣



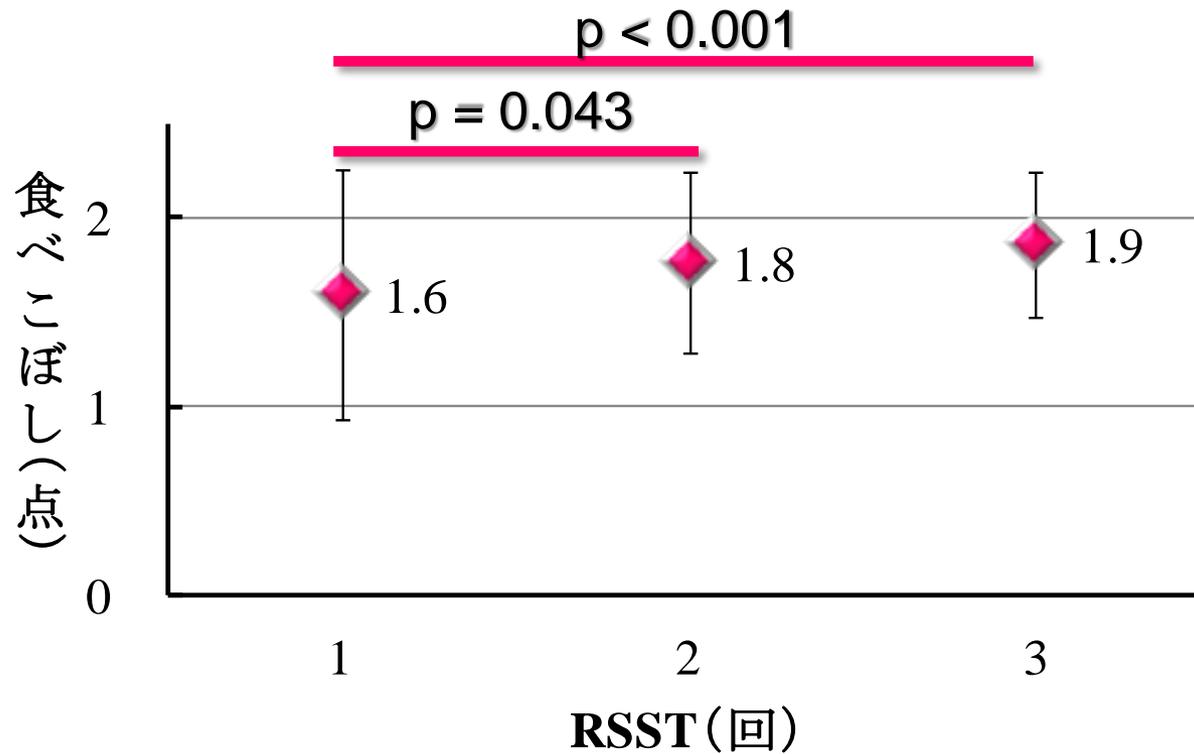
□ RSST嚥下回数が多い者ほど、口腔清掃習慣がある

むせ



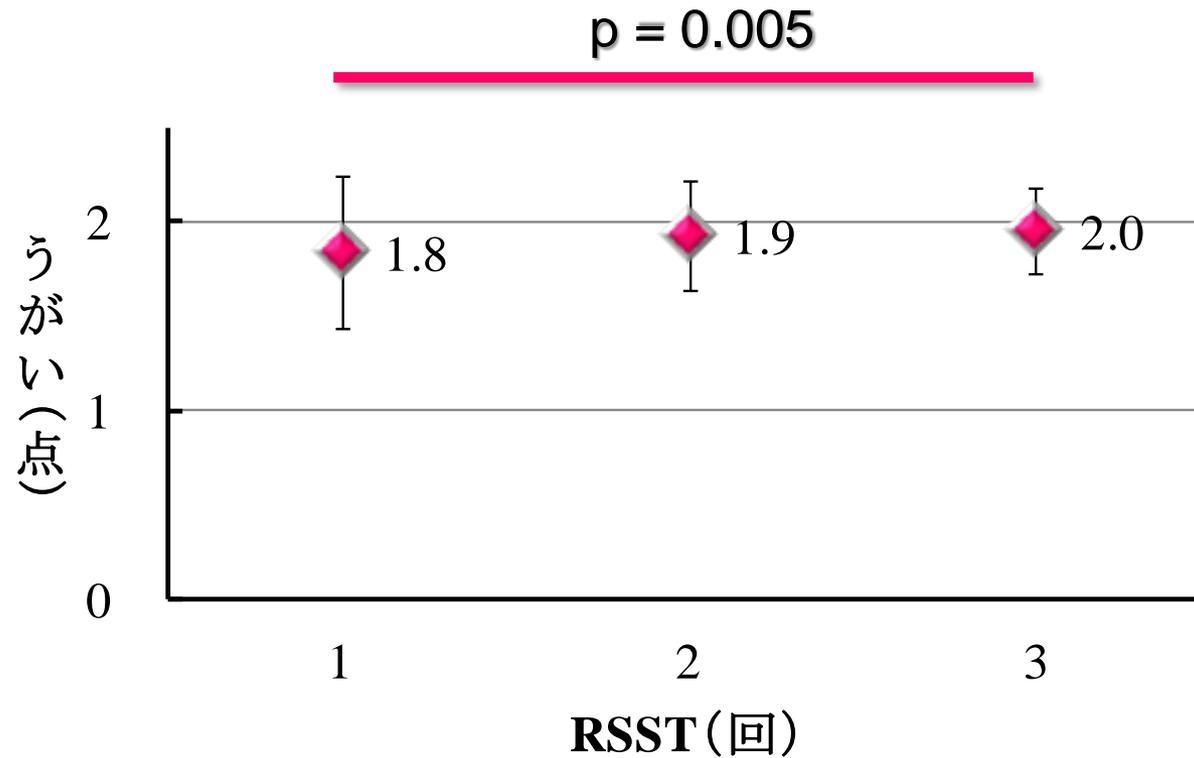
□ RSST嚙下回数が多い者ほど、むせない

食べこぼし



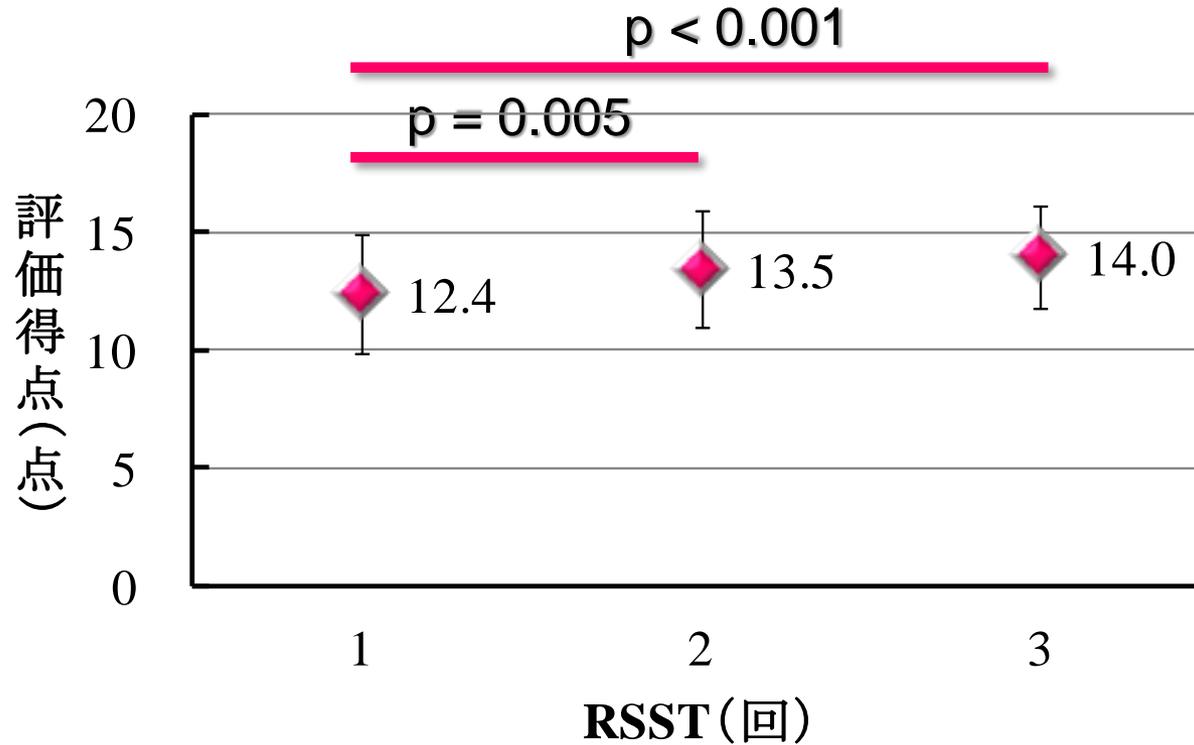
□ RSST嚥下回数が多い者ほど、食べこぼしが少ない

ブクブクうがい



□ RSST嚥下回数が多い者ほど、ブクブクうがいができる

口腔機能評価 総合得点



□ RSST嚥下回数が多い者ほど、口腔機能の状態が良い

考察

- RSSTの嚥下回数が多い者ほど、要介護度が低かった。
- RSSTの嚥下回数が多い者ほど、むせや食べこぼしも少なく自発的な口腔清掃習慣があった。
- ✓ 在宅ケアを利用する高齢者は、嚥下機能が低下するほどADLが低下 (Community Dent Oral Epidemiol 2013; 173-181)

嚥下機能が高いほど、
運動機能や身体機能が維持される可能性

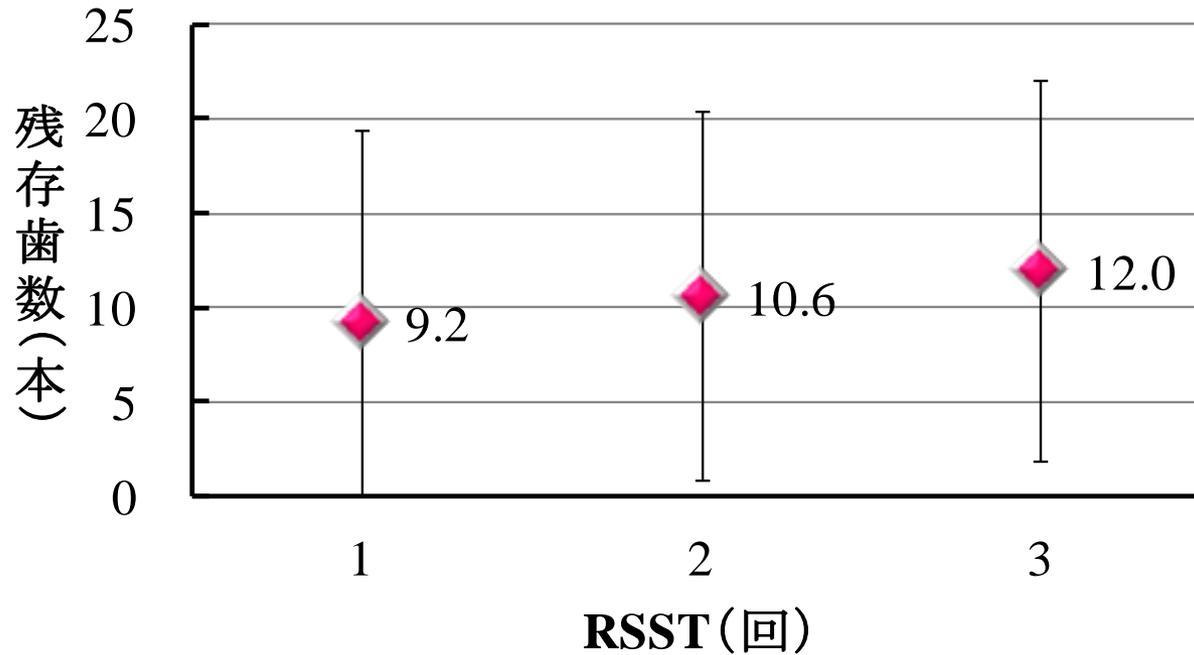
今後の課題

- 嚥下機能の低下と共に変動する要因の調整
 - ✓ 年齢
 - ✓ 認知機能
 - ✓ 栄養状態

- 他の口腔衛生指標との関連性の検討
 - ✓ 改訂水飲みテスト
 - ✓ オーラルディアドコキネシス

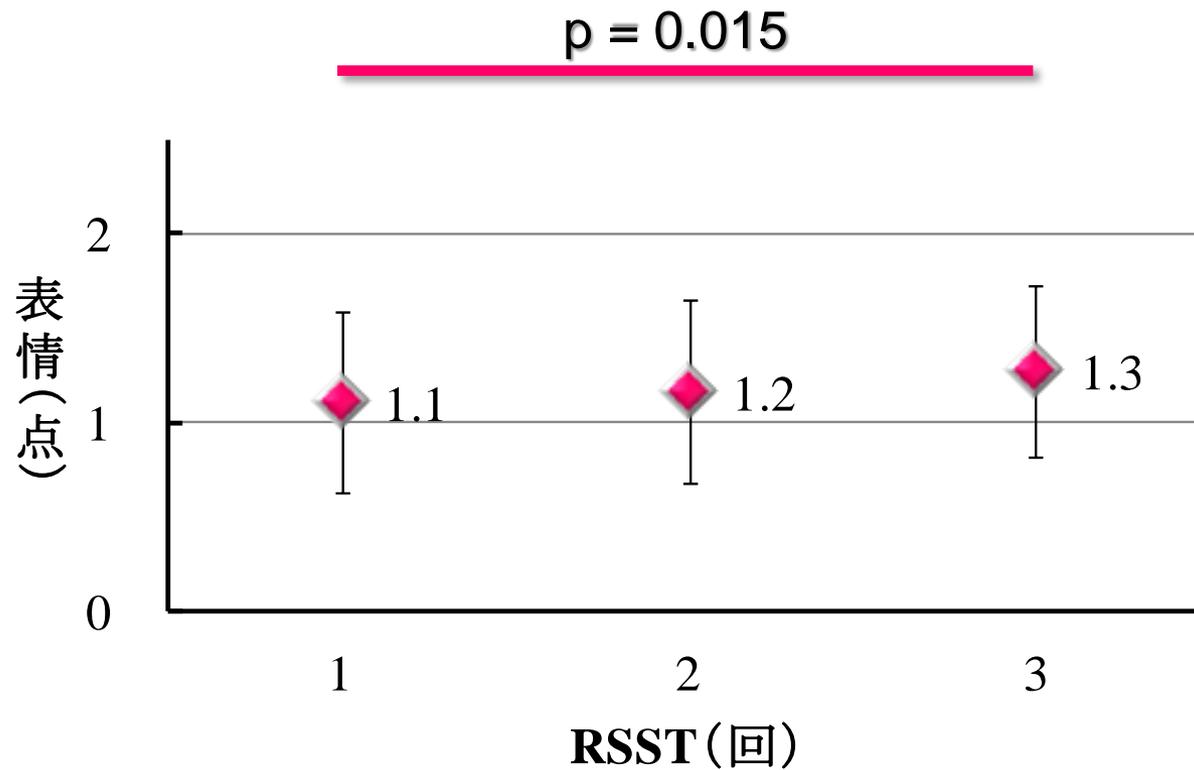
ご静聴ありがとうございました

残存歯数



□ RSST嚙下回数の影響は認められない

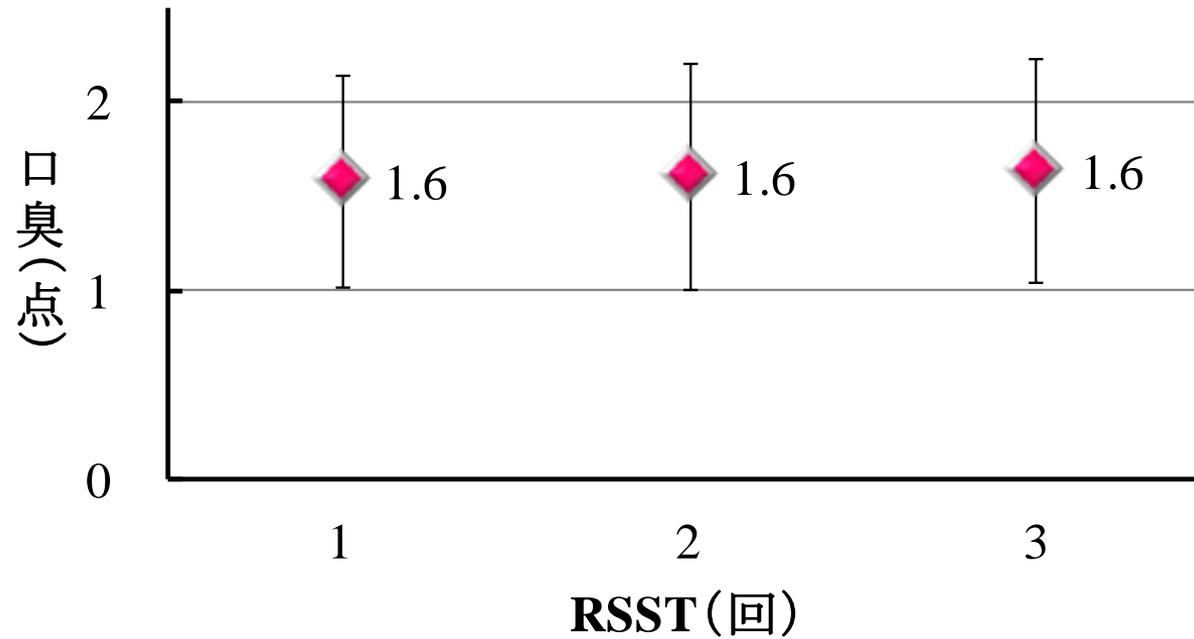
表情



□ RSST嚙下回数が多い者ほど、表情が豊かな傾向

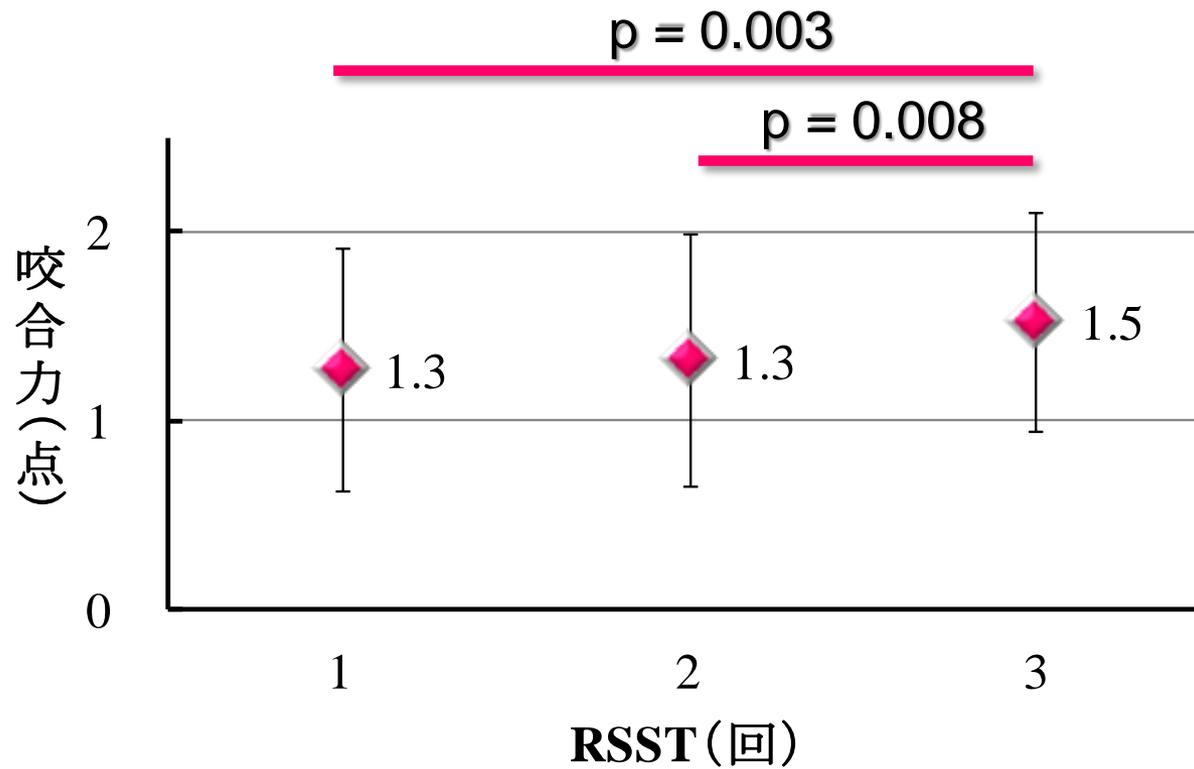
考察

口臭



□ RSST嚥下回数の影響は認められない

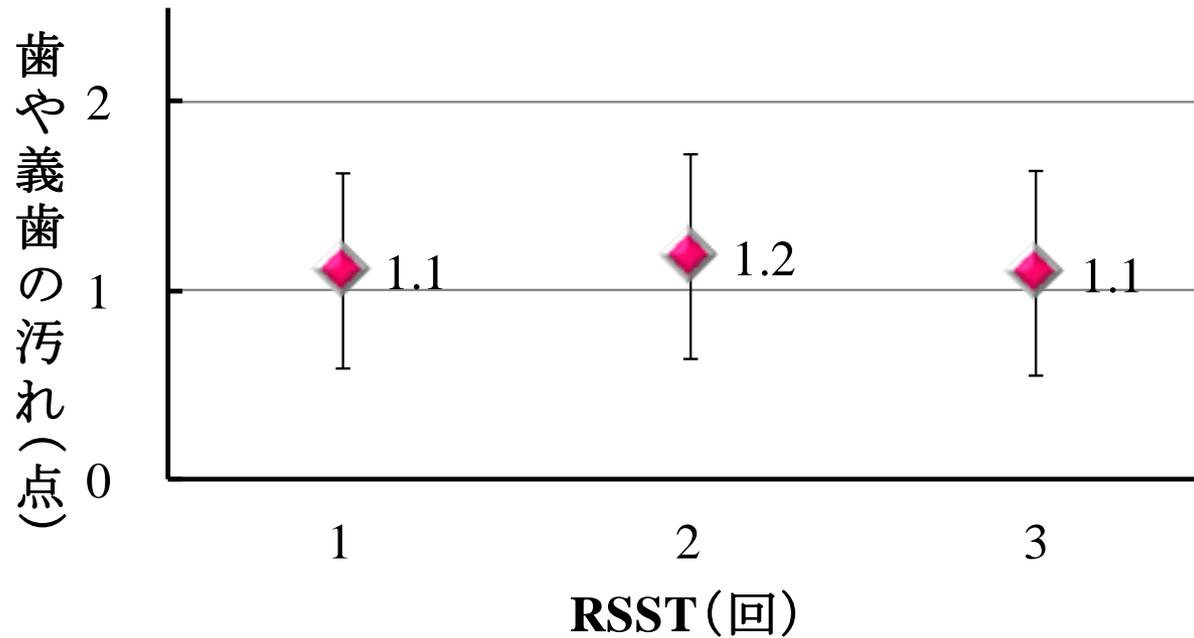
咬合力



□ RSST嚥下回数が多い者ほど、咬合力が高い

考察

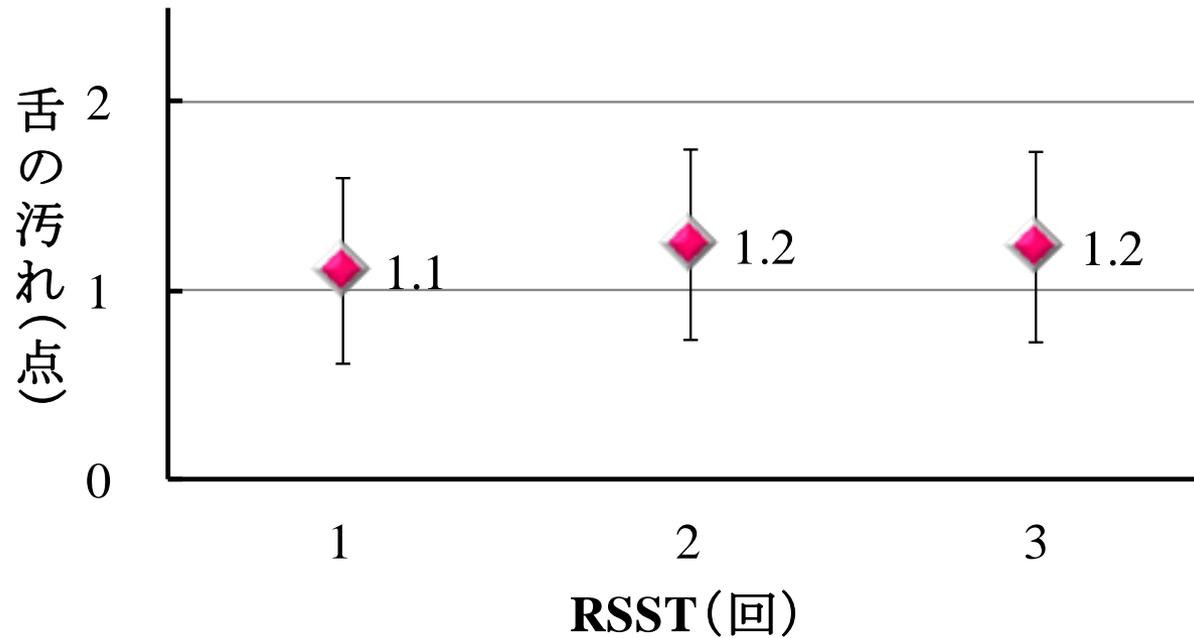
歯や義歯の汚れ



□ RSST嚥下回数の影響は認められない

考察

舌の汚れ



□ RSST嚥下回数の影響は認められない

考察